

ハイスタ錠[®]10mg

【この薬は？】

販売名	ハイスタ錠 10mg Hiyasta tablets
一般名	ツシジノスタット Tucidinostat
含有量 (1錠中)	10mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗悪性腫瘍剤に属する薬です。
- ・この薬は、ヒストン脱アセチル化酵素を阻害する作用により、がん細胞の増殖を抑えると考えられています。
- ・次の病気の人に処方されます。

再発又は難治性の成人T細胞白血病リンパ腫

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○患者さんや家族の方は、この薬の有効性や危険性について十分理解できるまで説

明を受けてください。説明に同意した場合に使用が開始されます。

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にハイヤスタ錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・骨髄機能が低下している人
 - ・不整脈のある人、または過去に不整脈があった人
 - ・QT間隔延長のある人、または過去にQT間隔延長があった人
 - ・肝臓に障害がある人
 - ・授乳している人
- この薬の使用前に血液検査が行われます。また、この薬の使用前に必要に応じて心機能検査（心電図、心エコー検査など）、電解質検査（カリウム、カルシウムなど）、電解質の補正が行われます。
- この薬には併用を注意すべき薬や飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

一回量	1日1回40mg（4錠）
飲む間隔	週2回、3日または4日間隔で食後に飲みます。

あなたの症状などに合わせて、この薬を減量、休薬、または中止することがあります。

飲む曜日の組み合わせは、下記を参考に医師または薬剤師と相談してください。



●どのように飲むか？

- ・使用前にPTPシートから薬を取り出してください。
- ・長時間口の中に含んだり、かみ砕いたりせずに、水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

飲み忘れに気がいたらすぐに、医師または薬剤師に連絡して、相談してください。決して2回分を一度に飲まないでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・骨髄抑制があらわれることがあるので、この薬の使用中は定期的に血液検査が行われます。
- ・間質性肺疾患があらわれることがあるので、この薬の使用にあたっては胸部X線検査などが行われます。
- ・QT間隔延長、不整脈があらわれることがあるので、この薬の使用中は必要に応じて心機能検査（心電図、心エコー検査など）、電解質検査（カリウム、カルシウムなど）、電解質の補正が行われます。
- ・妊娠する可能性がある女性は、この薬を使用している間および使用終了から一定期間は適切な避妊を行ってください。
- ・生殖可能な年齢の人は、生殖機能の低下がおこるおそれがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・グレープフルーツを含む食品は、この薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
骨髄抑制 こつずいよくせい	発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸（どうき）、息切れ
間質性肺疾患 かんしつせいはいしつかん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
感染症 かんせんしょう	発熱、寒気、体がだるい
不整脈 ふせいみやく	めまい、動悸、脈が遅くなる、気を失う、脈がとぶ
QT間隔延長 キューティーかんかくえんちょう	めまい、動悸、気を失う

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、寒気、出血が止まりにくい、体がだるい
頭部	頭が重い、めまい、気を失う
顔面	鼻血
口や喉	喉の痛み、歯ぐきの出血、咳
胸部	動悸、息切れ、息苦しい

部位	自覚症状
手・足	脈が遅くなる、脈がとぶ
皮膚	あおあざができる

【この薬の形は？】

PTP シート包装 外観	 <p>表面 裏面</p>
剤形 (PTP から取り出した 状態)	フィルムコーティング錠 
色	白色
外形	 <p>表面 裏面 側面</p>
大きさ	直径：9.7 mm 厚さ：3.9 mm
重さ	257.5 mg
識別コード	HBI 10

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ツシジノスタット
添加剤	ポビドン、結晶セルロース、乳糖水和物、デンプン、グリコール酸ナトリウム、タルク、ステアリン酸マグネシウム、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、酸化チタン、マクロゴール4000

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：Meiji Seika ファルマ株式会社

(<https://www.meiji-seika-pharma.co.jp/>)

くすり相談室

電話：(0120)093-396、(03)3273-3539

受付時間：9時～17時(土、日、祝日および当社休業日を除く)